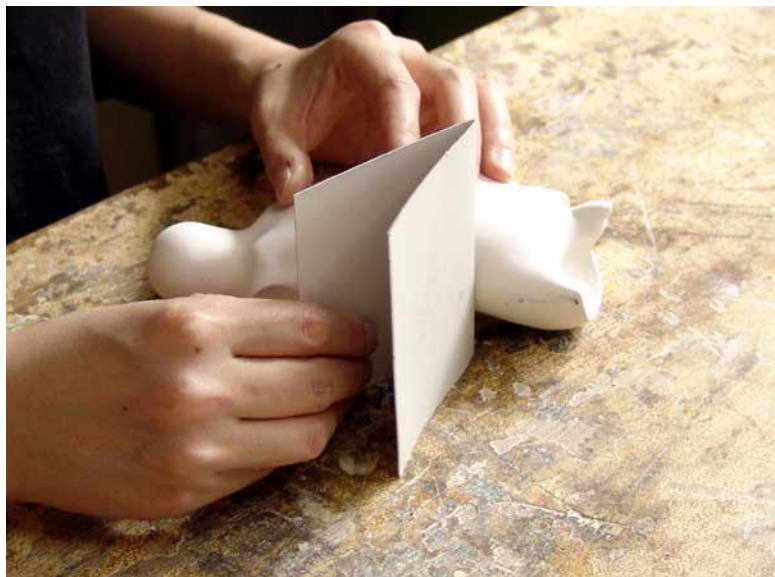
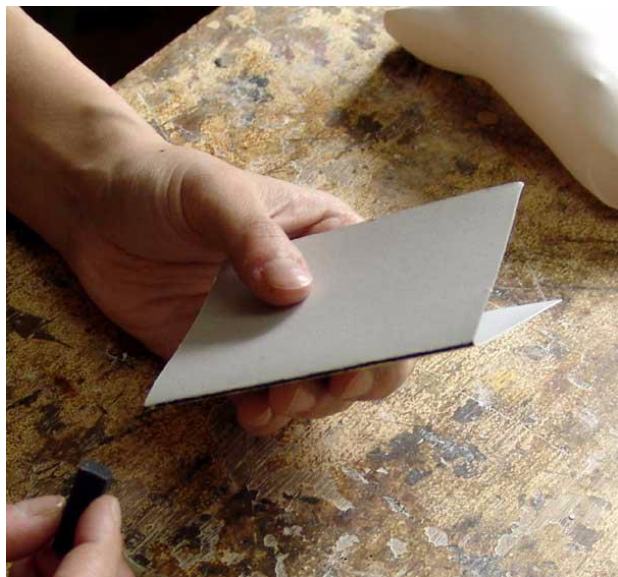
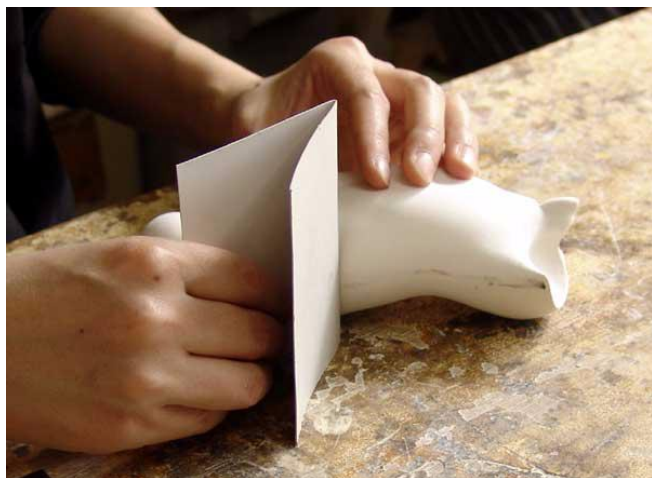


モールド(鋳込型)制作1

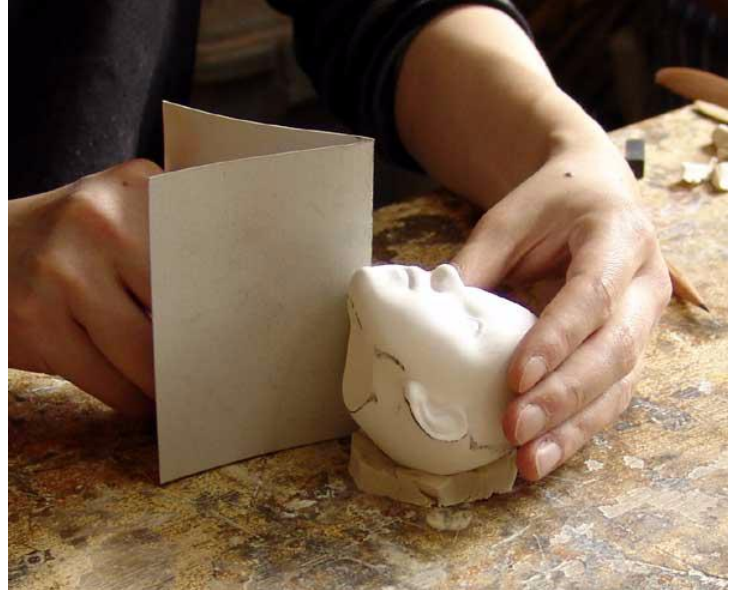
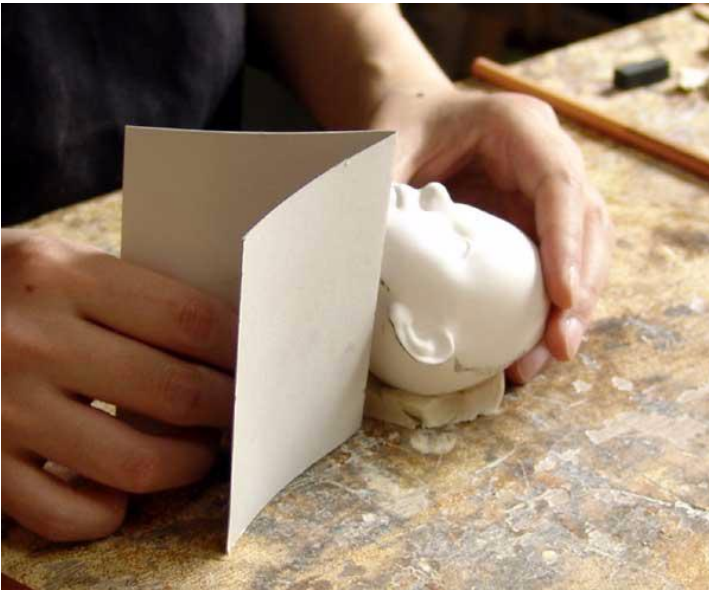


まず原型を分割するパーティングラインを出します。
ハガキ大の長方形のボール紙を二つ折りして、折った稜線にパステルやコンテ等を塗り付けます。

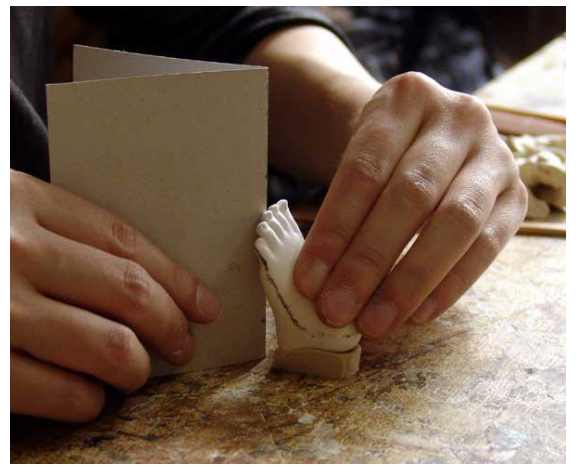


折った紙を少し開いて二つの底辺がテーブルに接した状態で稜線を原型に沿わせていきます。
現れたラインが分割線です。原型の置き方や形によってラインが不連続になることがあります。
連続性を保つために原型の置き方や原型の修正が必要になる場合もあります。

以下各パーツのライン出しについてポイントを挙げていきます。



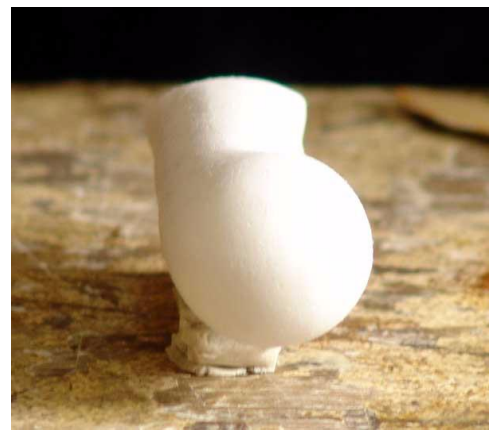
ヘッドは耳からえらのラインがつながりにくいため、顎の下で接するように顎を上げて固定します。
正面から見た左右の傾きにも注意してください。



足部は指の腹で接するように立てて固定します。やはり左右の傾きにも注意してください。



手は横から見た状態で球の中心に、前方から見た時に親指と小指が同じ高さくらいに固定します。



上腕は横から見て水平に、上から見た時に球が真横を向くように固定します。



下肢、前腕、大腿部は前後の傾きがなく水平に固定します。



ラインが出たら鉛筆で滑らかに引き直します。
ヘッドの受けは別型になるため後頭部の中ほどにラインを引きます。
鑄込み口(スリップを注ぎ込む穴)も印をしておきます。
受けの別型にもラインを引きます。エッジの外側がよいでしょう。

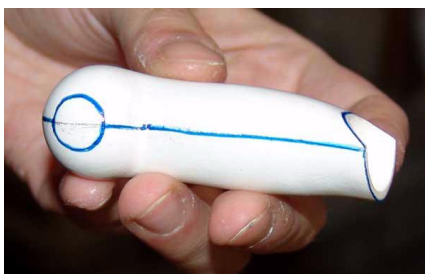
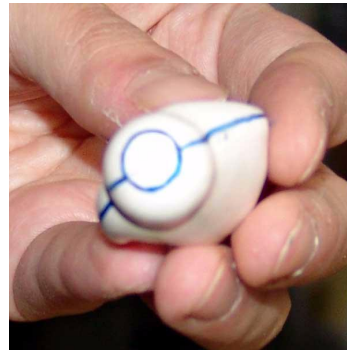
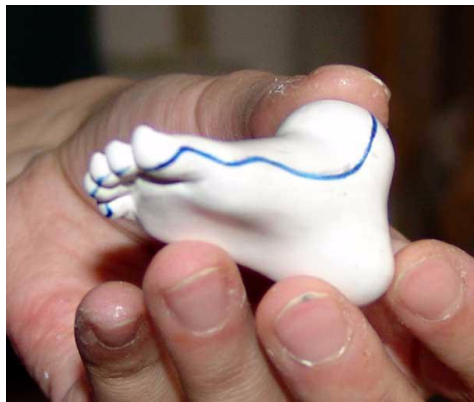
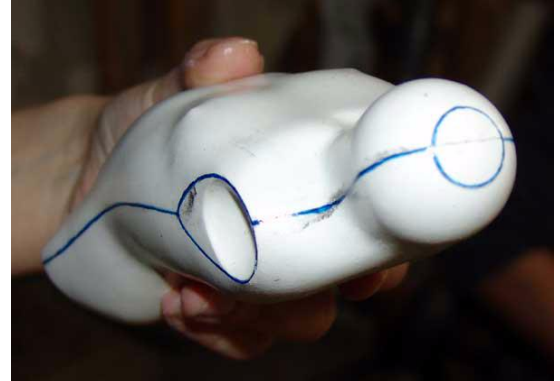
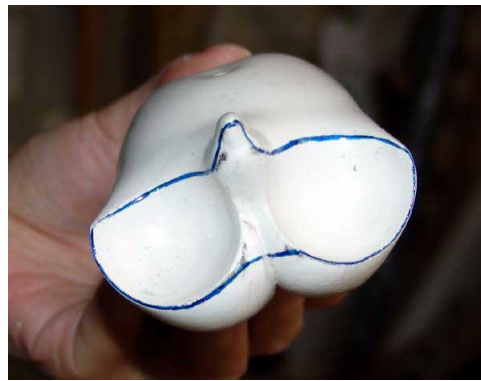
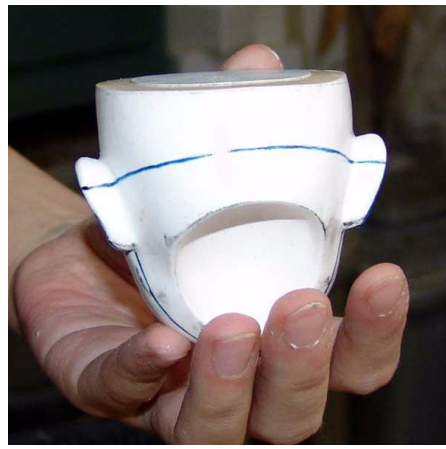


パーティングラインを引いたら、防水剤を塗ります。半面ずつ薄く2回塗りします。頭部の蓋や受けもすべてコーティングしてください。



防水材がしっかり乾いたら油性のサインペンでパーティングラインをひきなおします。

各パーツのパーティングライン



モールド作成1